

全国シェア95% “秋の味覚” 幸田町特産「**筆柿**」 まもなく出荷ピークを迎えます！！

JAあいち三河（代表理事組合長：天野吉伸）管内である幸田町の特産物「筆柿」が10月10日頃出荷最盛期を迎えます。

今年は9月19日に初出荷を迎え、順調に生育が進んでいることや、表年（果物には1年ごとに収量の多い表年と収量の少ない裏年があります）にあたることから、昨年よりも多い約420トンの出荷量を見込んでいます。

東京や大阪、長野、名古屋の市場へ出荷するほか、産直店舗「幸田憩の農園」、「道の駅筆柿の里幸田」で販売しています。



「筆柿」の特徴

愛知県幸田町栽培され、全国シェア95%を誇る特産物。1個100グラム程度の早生品種で、皮が薄く丸かじりもできる。平均糖度は18度で、高いものは25度にまで及ぶ。

筆柿を栽培する西三河筆柿選果場運営委員会は、幸田町と西尾市の生産者60人で構成され、約34ヘクタールで栽培している。出荷は10月10日頃を最盛期に10月下旬まで続く予定。

『筆柿』の取材対応（内容：選果場での出荷作業）

日時につきましては、10月上旬（10日頃）までの希望日に対応します。お電話いただく際に、希望日時（第2、第3希望まで）をお伝えください。幸田営農センター内の選果場で取材対応します。また、生産者の都合が合えば圃場へ案内することも可能です。



JAキャラクター：みのりくん

<お問い合わせ> JAあいち三河 総合企画室 企画広報課（担当：岡田）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会においてプレスリリースしています。